



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社AVILEN 上場取引所 東
コード番号 5591 URL <https://avilen.jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 光太郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 高田 拓明 TEL 03(5823)4694
定時株主総会開催予定日 2025年3月28日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	1,241	-	189	-	188	-	116	-
2023年12月期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2024年12月期 116百万円 (-%) 2023年12月期 -百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	19.14	18.59	21.0	15.3	15.3
2023年12月期	-	-	-	-	-

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 -百万円 2023年12月期 -百万円

(注) 1. 2024年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期の数値、対前期増減率及び2024年12月期の対前期増減率については記載しておりません。

2. 自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産に基づいて計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	1,233	552	44.8	90.38
2023年12月期	-	-	-	-

(参考) 自己資本 2024年12月期 552百万円 2023年12月期 -百万円

(注) 2024年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期の数値については記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	223	△359	421	567
2023年12月期	-	-	-	-

(注) 2024年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年12月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,614	30.0	250	32.0	234	24.2	152	31.4	24.97

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）株式会社LangCore、除外 1社 （社名）－

（注）詳細は、添付資料9ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 （5）連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年12月期	6,107,493株	2023年12月期	6,050,000株
2024年12月期	－株	2023年12月期	－株
2024年12月期	6,062,572株	2023年12月期	6,013,288株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前期比較は行っておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「データとアルゴリズムで、人類を豊かにする」をパーパスに掲げ、「企業と人がAIを自在に使いこなし、発展し続ける豊かな未来」の実現に向けて、「AIを搭載したソフトウェアの開発」と「デジタル組織の構築を支援するプログラムの提供」を主軸に、企業のAI活用/DX推進による成長を支援してきました。その中で、特に既存取引先のLTV最大化、AIソリューションの新パッケージ開発及びM&Aに向けた取り組みにより一層注力し、非連続成長の実現のための施策を進めております。

AIソフトウェアユニットでは、AI・データサイエンスの観点でデータの利活用により業務効率化等の新たな価値を創造するソリューションを提供しています。高速かつ高精度なボイスボットの展開や業務プロセスの完全自動化を目指す帳票処理AIエージェント等の最先端の生成AIソリューションの開発をはじめ、生成AI関連の開発プロジェクトやChatGPTを組み合わせた自社SaaSプロダクトである「ChatMee」等、生成AIビジネスへの展開に注力しております。

ビルドアップユニットでは、AI/DXに関わる組織及び人材の現状評価から必要人材（ビジネス領域及びエンジニア領域）の育成まで、AIの実装を実現するための組織開発に必要なパッケージ化されたサービスを一気通貫で提供しております。また、新たに生成AI関連コンテンツをリリースするなどサービス範囲の拡充を進めております。

AI業界を取り巻く事業環境については、生成AIの登場でAIの利活用が急速に実用化へ近づいている状況であり、日本における生成AI需要は2030年には2023年対比15倍に拡大し市場規模は1兆7,774億円になるとする予測（出典：JEITA「注目分野に関する動向調査 2023」）がされております。この環境下において、AIソフトウェアの需要拡大に伴い、特にAI人材の需給ギャップが広がり、真に価値のある生成AI活用のニーズが顕在化する見通しとなっております。

良好な事業環境のもと、組織開発からAIアルゴリズム開発まで完結したソリューションを提供できる当社独自の一気通貫モデルに加え、株式会社大塚商会等の資本業務提携先との連携を深化させながら、AIソフトウェア及びビルドアップ共に顧客基盤の拡充、継続性の高いプロジェクトを着実に積み上げております。また、DS-Hubの活用等により今後の成長に向けて優秀な人材の採用も順調に進んでおります。加えて、生成AI領域に特化したエンジニア集団である株式会社LangCoreの連結子会社化により、当連結会計年度の第4四半期から連結決算を開始しております。また、株式会社LangCoreの強みである生成AIプロダクトを活かし、大型プロジェクトの受注につながる等、シナジーが早期に創出されており、両社の短期的な収益向上のみならず、中長期的な事業拡大が見込まれる状況にあります。

当連結会計年度においては、AIソフトウェアユニット及びビルドアップユニットにおける顧客数・プロジェクト数は堅調に推移し、売上高1,241,485千円、営業利益189,353千円、経常利益188,821千円、親会社株主に帰属する当期純利益116,012千円となりました。なお、当社はAIソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、当社の販売実績を主な内訳に区分した売上高は、AIソフトウェアユニットは790,915千円、ビルドアップユニットは450,569千円となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は804,714千円となりました。主な内訳は、現金及び預金566,333千円、売掛金及び契約資産207,170千円であります。

固定資産は428,783千円となりました。主な内訳は、株式会社LangCoreの株式取得により発生したのれん342,691千円、自社利用目的のソフトウェア43,255千円であります。

この結果、当連結会計年度末における資産合計は1,233,498千円となりました。

(負債)

流動負債は673,653千円となりました。主な内訳は、短期借入金400,000千円、契約負債77,122千円であります。

固定負債は7,250千円となりました。内訳は、長期借入金であります。

この結果、当連結会計年度末における負債合計は680,903千円となりました。

(純資産)

純資産は552,595千円となりました。主な内訳は、資本金62,609千円、資本剰余金59,609千円、利益剰余金429,802千円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、567,835千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により獲得した資金は、223,368千円となりました。主に、売上規模の拡大による税金等調整前当期純利益172,192千円、売上債権の回収による売上債権及び契約資産の減少額56,642千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により支出した資金は、359,372千円となりました。主に、株式会社L a n g C o r eに係る子会社株式の取得による支出340,261千円、自社利用目的のソフトウェアの開発進捗に伴う無形固定資産の取得による支出12,544千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により獲得した資金は、421,619千円となりました。主に、株式会社L a n g C o r eの株式取得に係る短期借入金の増加額400,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入21,618千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年12月期につきましては、引き続きAIソリューションの旺盛な需要を着実に取り込むべく、企業のAIトランスフォーメーション戦略の策定からAIの導入まで広範な領域にわたり積極的な事業展開を続けるとともに、高品質なソリューション提供を可能とする組織基盤の強化を図ってまいります。また、資本業務提携先との連携の深化によりAIソリューションコンテンツの拡充及び一層広範な顧客開拓、株式会社L a n g C o r eとの更なるシナジー創出による収益力の向上、M&Aに向けた取り組みにより一層注力してまいります。

以上により、2025年12月期の業績見通しにつきましては、売上高1,614百万円（前年同期比30.0%増）、営業利益250百万円（前年同期比32.0%増）、経常利益234百万円（前年同期比24.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益152百万円（前年同期比31.4%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

当連結会計年度 (2024年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	566,333
売掛金及び契約資産	207,170
その他	31,211
流動資産合計	804,714
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	0
工具、器具及び備品(純額)	5,467
有形固定資産合計	5,467
無形固定資産	
のれん	342,691
著作権	4,535
ソフトウェア	43,255
無形固定資産合計	390,482
投資その他の資産	
敷金及び保証金	13,551
繰延税金資産	19,281
投資その他の資産合計	32,833
固定資産合計	428,783
資産合計	1,233,498
負債の部	
流動負債	
買掛金	13,403
未払金	13,675
未払費用	45,171
契約負債	77,122
短期借入金	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,500
未払法人税等	58,804
賞与引当金	4,347
その他	59,629
流動負債合計	673,653
固定負債	
長期借入金	7,250
固定負債合計	7,250
負債合計	680,903
純資産の部	
株主資本	
資本金	62,609
資本剰余金	59,609
利益剰余金	429,802
株主資本合計	552,022
新株予約権	573
純資産合計	552,595
負債純資産合計	1,233,498

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,241,485
売上原価	373,453
売上総利益	868,031
販売費及び一般管理費	678,677
営業利益	189,353
営業外収益	
受取利息	32
債務勘定整理益	1,185
その他	441
営業外収益合計	1,659
営業外費用	
支払利息	1,910
為替差損	279
営業外費用合計	2,190
経常利益	188,821
特別利益	
新株予約権戻入益	1,116
特別利益合計	1,116
特別損失	
減損損失	17,745
特別損失合計	17,745
税金等調整前当期純利益	172,192
法人税、住民税及び事業税	60,976
法人税等調整額	△4,796
法人税等合計	56,180
当期純利益	116,012
親会社株主に帰属する当期純利益	116,012

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	116,012
包括利益	116,012
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	116,012

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	51,760	48,760	313,790	414,310	1,395	415,705
当期変動額						
新株の発行 (新株予約権の行使)	10,849	10,849		21,699		21,699
親会社株主に帰属する 当期純利益			116,012	116,012		116,012
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					△821	△821
当期変動額合計	10,849	10,849	116,012	137,711	△821	136,890
当期末残高	62,609	59,609	429,802	552,022	573	552,595

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	172,192
減価償却費	12,196
減損損失	17,745
のれん償却額	12,692
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,347
受取利息	△32
債務勘定整理益	△1,185
支払利息	1,910
為替差損益 (△は益)	279
新株予約権戻入益	△1,116
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	56,642
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,158
契約負債の増減額 (△は減少)	△8,907
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	471
その他	14,915
小計	276,995
利息の受取額	32
利息の支払額	△1,910
法人税等の支払額	△51,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,368
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,566
無形固定資産の取得による支出	△12,544
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△340,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△359,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000
長期借入金の返済による支出	△375
新株予約権の行使による株式の発行による収入	21,618
新株予約権の発行による収入	375
財務活動によるキャッシュ・フロー	421,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	△279
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	285,335
現金及び現金同等物の期首残高	282,500
現金及び現金同等物の期末残高	567,835

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当連結会計年度において株式会社LangCoreの株式取得に伴い、子会社化したため、同社を連結の範囲に含めております。

（セグメント情報）

当社は、AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	90.38円
1株当たり当期純利益	19.14円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	18.59円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	552,595
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	573
(うち新株予約権 (千円))	(573)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	552,022
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	6,107,493

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	116,012
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	116,012
期中平均株式数 (株)	6,062,572
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—
普通株式増加数 (株)	176,707
(うち新株予約権 (株))	(176,707)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

(借入金の借換え)

当社は2025年2月14日開催の取締役会において、株式会社三菱UFJ銀行を貸付人とした既存借入について、長期の借入への借換えを実施することに伴い、2025年2月28日付で金銭消費貸借契約を締結することを決議いたしました。

1. 目的

当契約は、既存の借入金の借換えを行い、長期での資金調達を行うことで、財務基盤の安定性の確保を高めることを目的としております。

2. 契約の概要

借入先	株式会社三菱UFJ銀行
借入金額	400,000千円
契約締結日	2025年2月28日
実行日	2025年2月28日
最終弁済期限	2029年10月31日